

発行所

社団法人 埼玉県電業協会
〒336-0031 さいたま市南区
鹿手袋4-1-7 (建産連会館内4F)
TEL 048(864) 0385
URL <http://www.saidenkyo.jp/>
E-MAIL kyokuchou@saidenkyo.jp

彩さいのかがやきの耀

第151号

平成19年12月7日発行

発行人 佐野良雄
編集人 広報委員会
(委員長 浅子 洋)
編集 日本工業経済新聞社
(埼玉建設新聞)

会員60社が参加

19年度企業対策セミナーを開催



佐野会長

10月17日に会員企業を対象とした「平成19年度企業対策セミナー」を、さいたま新都心のホテルプリランテで開催しました。

会員企業60社が参加した

セミナーは第1部に、国土交通省関東地方整備局管轄部の高久信彦官庁施設管理官による『管轄工事における総合評価について』の講演。第2部では『CSRと企業の危機管理』—法令順守だけでは危ない、倫理の順守が重要—をテーマに(株)コミュニケーション戦略研究所の佐久間健社長が講師を務めました。

講演に先立ち佐野会長は「我々を取巻く環境は日々刻々と変化しています。この様な時こそ人材育成を積極的に進め、企業の社会的責任を認識していかなければ企業自体の存続が危ういのでは」と危機感を示した上で、本日の講演を「それぞれの知識・財産として充分蓄え、明日からの企業対策として役立てて下さい」とあいさつしました。

続いて、国土交通省関東地方整備局の鬼沢浩志管轄部長が「皆様がこの様な勉強会を開き研鑽を積まれている事は大変心強く思います。高度な技術力を持った企業の集まりである埼玉県電業協会の皆様に、透明性を以って一緒になって素晴らしい公共事業推進を頑張っていきたい」とあいさつしていただきました。

第2部に移り講演を前に、県国土整備部の新井宣夫建設課長はあいさつで「今年は既に100社を指名停止処分をしています。この内9割が独禁法違反や入札妨害です」と状況説明から入り「公共事業費

は平成8年の2800億円をピークに現在では半分以下に激減しており、皆様を取巻く環境は非常に厳しいものになっています。この様な時が最も危険です。この様な時が最も危険です。



鬼沢管轄部長

いよう十分気をつけて下さい」と注意を促すとともに「必要な情報はいつでも提供します」と呼びかけていただきました。

第1部のセミナーでは高久管理官が配布した資料とスクリーンを利用し、題目とともに「総合評価方式における評価項目設定事例より(管轄工事)」、「低入札の状況と緊急公共工物品質確保対策等について」を細部にわたり説明していただきました。

第2部での佐久間社長がCSRが注目される理由、CSRとはをテーマとした講演をしていただきました。この中で特に5つの社会的責任に触れ①企業本来責任②企業の倫理的責任③企業の法的責任④環境問題への責任⑤社会・ステークホルダー(利害関係者)への責任—が重要課題と説いていました。



60社が参加した企業対策セミナー

「彩の耀」に寄せて



さいたま市章

時の人

さいたま市長

相川 宗一

制定の経緯

さいたま市の市章は、浦和市・大宮市・与野市の三市合併によるさいたま市誕生を記念し、市の顔となりシンボルとなるような市章デザインを全国から募集して、市民投票を経て選考され、定められたものです。平成13年10月25日制定。

市章の意味

さいたま市の頭文字「S」をモチーフに、未来に向かって人もまちもいきいきと前進するイメージのデザインです。Sを囲むように弧を描くことで市民を暖かく包みながら共に発展していくこと、輪(和)が広がり、融和していくことを表現しています。

基調となる緑色は、見沼たんぼに代表される豊かな自然との調和を示しています。

社団法人埼玉県電業協会の皆様におかれましては、日ごろ、電気設備産業の適切な運営と健全な発展にご尽力をいただき、深く感謝申し上げます。

本市は、平成15年4月に全国で13番目の政令指定都市に移行して以来、今年で5年目という節目の年を迎えました。この間、平成の大合併の先駆的な役割を果たすとともに、平成17年4月には、「城下町、人形のまち」として発展した岩槻市と合併し、10行政区、行政面積は217平方キロメートルとなり、現在の人口は120万人を超え、政令指定都市の中で全国9番目(人口)の都市となりました。

また、県庁所在地として県内の行政・経済・芸術文化の中心都市であり、平成12年に街開きした「さいたま新都心」地区には、主に関東甲信越地方を管轄する国の行政機関が都内等から移転したのをはじめ、さいたまスーパーアリーナ等中核施設が整備されています。

このような歴史的な変革期の中で、理想都市さいたま市の実現に向けた行動計画、いわゆるマニフェスト工程表を策定するとともに、着実な実施を市政の最重要課題として位置付け、全力を傾注しているところでございます。

かねてから建設を進めておりました浦和駅東口駅前再開発ビル内に、平日は午前9時から夜9時までの12時間開館する中央図書館や指定管理者である市民団体と市の協働により管理運営を行う市民活動サポートセンターなどの複合公共施設(愛称:コムナール)また、鉄道とともに発展を遂げてきた本市にとっては念願の鉄道博物館、さらには大宮アルディージャの本拠地となるNACK5スタジアム大宮など、魅力あふれる地域資源を生かした「さいたま市ブランド」とも言える施設が続々と誕生し、政令

指定都市としてふさわしい魅力あるまちづくりが順調に進んでおります。

一方、全国千八百余の地方自治体をリードする政令指定都市としての責任と役割は非常に大きいものであり、地方分権の推進とりわけ三位一体の改革の積極的な推進を図るとともに、八都県市首脳会議においては、AEDの普及啓発や障害者自立支援法に関する調査研究、道州制のあり方など、首都圏の広域的な課題の解決に向け積極的な提言や取り組みを行っております。

また、このような本市の施策をわかりやすく、親しみやすく市民の皆様へ伝え、本市の魅力積極的に内外へ情報発信するツールとして、政令指定都市では初めてとなるPRキャラクター「つなが竜 スウ」

を作成しました。日本最大規模を誇る都市緑地空間であります見沼

田んぼの主の子孫という設定で見沼(ミヌマ)からスウと名づけ、市民と行政の「つながり」を深める役割を担う竜という



さいたま市施策PRキャラクター

意味を込めており、市の施策紹介やイベントに積極的に活用してまいりたいと考えております。

これからも、理想都市さいたま市の実現のため、市民の皆様との協働により、さいたま市政の進展に全力を傾注し、東日本の中枢都市として行政・経済・芸術文化を担う活力ある自立都市づくりに取り組んでまいりますので、より一層のお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、社団法人埼玉県電業協会のますますのご発展と、会員皆様のご健勝をご祈念申し上げます、あいさつとさせていただきます。

災害復旧対策で講習会

備え、迅速な対応へ

9月11日に建産連会館大ホールに県危機管理防災部消防防災課・内田正夫課長、同課地震対策担当・高野滋彦主査を迎え、災害復旧対策講習会を開催しました。

内田課長さんからは「県と防災協定を結んでいるのは200団体を超えておりますが、マニュアルを整備しているのは電業協会だけで、我々といたしましても大変心強く感じております。このような講習会を毎年続けてしっかり勉強して下さい」と力強いエールをいただきました。

講習会には会員企業80人以上が参加。第1部の「今すぐできる震災対策」、第2部の「災害時の実働体制について」を2時間にわたって勉強しました。

講習会に先立ち会長は「平成17年9月に県と結んだ『防災協定』以来、災害防災マニュアルを改訂し、勉強会や講習会を実施してきました。いつ襲ってくるか分からない災害に備え、迅速な対応が出来るようしっかり勉強して下さい」とあいさつしました。

講習会第1部では、高野主査が「今すぐできる震災対策—新潟

県中越沖地震情報を含めて—」を配布した資料とスクリーンを使って、阪神・淡路大震災や石川県能登半島地震の被害などを詳細に説明していただきました。

第2部では協会事務局の荒川次長が①災害実働マニュアル②危機管理防災③新潟中越大地震—を説明し、「マニュアルをより良いものにするためご意見・ご要望がありましたら事務局まで連絡下さい」と呼びかけました。

講習会を企画した中村委員長は「災害情報をいかに早く正確に会員企業に伝達できるか、シュミレーションを繰り返し体制を整えておりますので、今後も協力をお願いします」と述べ、講習会を終了しました。

主要事業



80人余が参加した災害復旧対策講習会

県内各支部でロードサポート

道路清掃に汗流す

北部支部・クリーンロードクラブ東松山と西部支部はこのほど「彩の国ロードサポート・道路清掃活動(ボランティア)」を実施しました。

クリーンロードクラブ東松山は8者で県道高坂上唐子線(東松山市下唐子地内)、西部支部からは14者が名乗りを上げて川越北環状線(川越市上野田地内)で汗を流しました。

それぞれ午前10時から2時間あまり、交通車両に気を配りながらゴミをや枯れ葉、空き缶などを集め、近隣のクリーンセンターを持ち込みました。両支部ともに大型のゴミ袋30個にもなりました。

なお当協会では南部支部、東部支部でも同様に「彩の国ロードサポート・道路清掃活動」を進めており、地域社会の一員としてボランティア活動を展開しています。



下水道フェスタに参加

チビっ子達に大好評

10月13日に戸田市の荒川水循環センターで開かれた「荒川・下水道フェスタ2007」に参加した当協会のブースは、来場者のちびっ子達から大きな人気を得て好評でした。



会場にはフリーマーケットや魚釣りコーナー、施設チビっ子に人気だった当協会のブース見学コーナーのほか、ステージではテレビで人気の獣拳戦隊ゲキレンジャーショーがプログラムを飾り、今年も近隣住民が午前10時の開門から多数訪れ、昨年と同じ約5000人が来場しました。電業協会はチビっ子たちに大人気のカードゲーム「遊戯王」で参加しました。午前と午後の各1回30人を抽選で選びカードセットを配布。選ばれたチビっ子達は早速対戦相手とゲームを楽しんでいました。

町田迪元会長が叙勲



旭日双光章を受章した町田迪元会長

秋の叙勲において当協会の町田迪元会長(70歳、国益電設工事(株)代表取締役会長)が、建設事業功労で旭日双光章を受章されました。50余年の長きにわたり電気設備工事業に従事し社業の発展を図るとともに、褒章受章後の功績が認められたものです。昨年の長井邦男氏に続き2年連続で当協会関係者が受章されました。

町田元会長は昭和50年6月から当協会の理事を務

め、平成4年5月に副会長、同6年5月から14年5月まで会長を歴任。指導力と実行力を発揮し、協会の健全な発展に力を尽くしていただきました。会長を退いた後も名誉会長(理事)として、会員相互の連絡調整役を果たすとともに、業界の直面する諸課題への対応など、協会活動の活性化を図っていただきました。18年5月に名誉会長を退いた後は顧問として、現在も協会を支えていただいています。

これで資格はまる



『電気工事施工管理技士』取るぞ計画 【実地試験対策 その1】



SEEDO
関根 康明

■実地試験の概要

実地試験といっても、電気工事士試験のように実際に配線工事を行うものではなく、記述式による筆記試験です。

1級の試験科目は次のとおりです。

試験科目	試験基準
施工管理法	設計図書で要求される電気設備の性能を確保するために設計図書を正確に理解し、電気設備の施工図を適正に作成し、及び必要な機材の選定、配置等を適切に行うことができる高度の(※)応用能力を有すること。

※2級は「高度の」が「一応の」

試験科目は「施工管理法」1科目ですが、電気工学、法規等を含めた総合的能力が問われ、19年度の1級では次のような5問が出題されました。

■出題例

施工体験記述は実地試験の中心をなすもので、質問内容にあった確かな表現力が要求されます。経験したことを書くのだから難しくないと高を括っていると失敗します。

出題のパターンは毎年同様なので、質問を想定して解答案をいくつか考えておくことです。今年度の出題をみてみましょう。(要約)

【出題例】あなたが経験した電気工事について、次の問いに答えなさい。

■どんな電気工事を選ぶか

言うまでもなく、「電気工事」であること。電話交換機、消防用設備、CATV等の工事は、たとえ電源工事があっても弱電が主体なので、避けてください。

出題者の意図に沿った解答が容易に導き出され、順調に完成した工事体験であることが重要です。記述しやすく、適した工事体験は次の3つです。

①ある程度の工事規模

出題例にあるとおり、請負額の記載が求められます。

特注品の工場検査、停電工事等の無い小規模な工事では、「特に留意した事項・理由」、「具体的な処置又は対策」に対する適切な解答を複数挙げるのは難しいことがあります。

②他業種との取り合いのある工事

■記述の要点

今年の問題で、(1)「資機材の搬入計画作成で、工程管理上特に留意した事項・理由」と、(2)「具体的な処置・対策」の問いに対して、次のような答えはどうでしょう。

【解答案】(1)資材管理の徹底。盗難防止。(2)電線、ケーブルの盗難に遭い、少量保管とした。資材の遅れに対しては、作業員の深夜、休日勤務で工期内に完了させた。

これは次の点で不適です。

①資材管理は搬入後に主眼が置かれ、特筆すべき留意点とはいえない。(題意に過ぎない)

②別の現場で盗難に遭ったことがあり特に留意した、というつもりで書いても、採点者は、資材管理の徹底に留意しな

問題1 施工体験記述

実際に経験した電気工事において、工程管理等で留意した点、その理由、対策などを記述。(詳細は後述)

問題2 施工管理法

労働災害の防止について、具体的内容を記述。(例年、電気工事の施工や管理に関するもの)

問題3 工程表

アロー形ネットワーク工程について、所要工期その他を求める。

問題4 電気用語の知識

電気的重要語句に関し、技術的内容を記述。

問題5 法令

建設業法の穴埋め問題。(例年、主に建設業法、次に労働安全衛生法)

1-1 経験した次の事項について記述しなさい。

(1)工事名 (2)工事場所 (3)電気工事の概要(請負額及び内容) (4)工期 (5)この電気工事でああなたの立場 (6)あなたが担当した業務の内容

1-2 上記電気工事の現場における資機材の搬入計画作成で、①工程管理上、特に留意した事項とその理由。処置又は対策。②品質管理上、特に留意した事項とその理由。具体的な処置又は対策。

1-3 工程管理上の問題点、改善した内容。

建築、管工事等と同時並行して行ったものは、電気単独の工事より面倒なものです。工程調整、その他協調の場面が増えるからです。しかしそういう工事のほうが留意事項も多く、解答選択の幅が広がるのも事実です。

なお、単独工事でも留意事項が多く、解答に困らないものは必ずしもこれによることはありません。

③最近体験した工事

工期の記載で昭和の物件はもちろんのこと、平成初期の工事も好ましくありません。あまり古いものは、施工技術の進歩からみても印象が悪くなります。

できれば完成が5年以内の工事から選ぶようにしてください。

から盗難に遭ったのか、と思う。そう解釈されると計画作成時点での対策でなくなる。(誤解をまねく表現)

③深夜勤務、休日勤務で工程調整した。(社会通念上好ましくない)

以上、()書きしたことに注意して記述することです。

過去の問題を施工計画、品質管理、工程管理、安全管理の4種類に分け、それぞれ3項目程度の「留意事項」「その理由」「処置または対策」の解答案を用意しておけばよいでしょう。パリエーションには自在に対応できる能力も養ってください。

新入者研修、環境保全、災害対策なども考えておきたいものです。

◆関根 康明 (せきね やすあき)

1951年、埼玉県川越市生まれ。埼玉県庁勤務の後、SEEDO

(SEKine Engineering Design Office) 代表。出前講座、資格取得支援等をおこなっている。

800年の時代を経て

(株)沼尻電気工事 代表取締役 沼尻 裕之

協会だより
北部支部

深谷市は、明治から平成にかけて編入を含めた町村合併を4回しました。実に18の旧町村で構成されています。特に平成の大合併では、私自身当事者として歴史の一部を体験で



深谷城址公園の入口

きたと感じています。平成の大合併は、当初「深谷市・岡部町・川本町・花園町・寄居町」の1市4町で協議会が開始されましたが、途中で寄居町が離脱したため、協議会は解散しました。その後も協議を重ねて「深谷市・岡部町・川本町・花園町」の1市3町の合併が実現しました。

合併実現へ向けて実際にご尽力された方々には大変失礼かと思いますが、この合併の経過を過去の歴史と比較して考えてみました。

時代を遡ること約800年、旧川本町に鎌倉時代の関東武士を代表する武将であり、一ノ谷の合戦のヒヨドリ越えて有名な畠山次郎重忠がいました。旧岡部町には、同じく一ノ谷の合戦で平家の名将平忠度を討った岡部六弥太忠澄がいました。岡部忠澄の妻は、畠山重忠の妹なので二人は義兄弟ということになります。旧深谷市には、新開荒次郎実重がいました。この3人は源頼朝、鎌倉幕府に仕えた武士たちです。また旧

花園町を含む寄居町は藤田孫五郎正行が花園城を築城して一帯を支配していました。こちらも鎌倉幕府の御家人です。このころの深谷市、寄居町は鎌倉幕府のもとで比較的安定した生活が営まれていたと思います。

しかし、源頼朝の死後、室町時代から江戸時代初期にかけて、深谷市と寄居町は時代に振り回されます。室町時代には上杉謙信で有名な上杉氏が深谷城を築き深谷市一帯を治めていました。一方、寄居町は藤田氏に代わって、鉢形城を拠点とした小田原の北条氏の勢力が拡大していました。戦国時代になると、深谷城の上杉氏と鉢形城の北条氏は幾度となく戦闘を繰り返していました。当時の地元の人々にとっては辛い出来事だったと思います。また、畠山重忠を討ったのは北条氏と伝えられています。

これは私個人の勝手な思い込みですが、この度の合併の結果に800年前に起こった歴史的な背景がほんの少し影響したのかなと思います。現在、深谷城、鉢形城とも城址として保存されています。畠山重忠や岡部忠澄の墓も残されています。

鉢形城復元門



埼玉県北部には、比較的自然が多く、自然と調和のとれた史跡がたくさんあります。ときには、当時の人々に思いを馳せながら史跡めぐりをするのもいいかもしれません。

健康とくらし

(株)内田電気商会 代表取締役 田村 盛良

Voice

昨年6月、内田会長の後を継ぎ代表取締役に就任致しました。協会員の皆様には日ごろ、ご指導励ましをいただいておりますが今後ともよろしくお願ひしたいと思います。

さて、本来ならば地域の社会・経済・文化について述べるべきところですが、今回は自分の身の回りのことについて考えてみました。平成11年サラリーマン生活に終止符を打ち、久喜の地にやってまいりました。中学卒業後、方々に住みましたがどうやらここが終点となりそうです。埼玉県民となって9年目を迎えますが、ここへ着て少々暮らしの様子が変わってきました。健康を害し始めたのです。

平成17年、個人的には後厄の年、レストランで倒れて救急病院に搬送されてしまいました。原因はてんかん発作ということでした。初めての入院で家族も驚いた様子でしたが、自分もなぜそうなったか分かりませんでした。3日間の入院生活でしたが、とりあえず退院後も入院中そうだったように、タバコを喫うのを止めました。幾度となく失敗した禁煙ですが、今回は意外と簡単に達成できました。

今まで何不自由なく手に入れていた自分の健康ですが、家族のこと、会社のことを考えた時に健康に注意するという今まで無関係に思っていた言葉が、何となく私の脳裏に残るようになりました。

そして、去年・今年と2年続きで人間ドックに入りました。去年67kgあった体重は本来の59kgに戻り、見た目には健康を取り戻したように思えたのですが、検査結果は逆で「要治療」の項目が増えてしまいました。いよいよ医師に相談して自分の体について考え直さなければなりません。

周りを見ると同世代もしくは年下の社長さんが年々増えてきました。皆、食欲もあり、どう見ても自分より健康そうです。9年前幼かった3人の子供は、かなり大きくなりました。女房は最近医者の方へよく通っています。忙しさにかまけて自己管理が甘い私は反省すべきでしょう。最近、休日は公園でウォーキングをしています。たまに喫いたいと思うタバコも禁煙継続中です。しばらくは家族5人、無事に暮らすことを祈っています。

10月

- 5日 1級電気工事施工管理技術検定試験準備講習会実地コース2/2
- 9日 第7回理事会
- 13日 荒川・下水道フェスタ2007
- 17日 企業対策セミナー
- 31日 協会共催・設備設計事務所協会技術研修会



11月

- 7日 三県連絡会議[秋季](千葉県担当)
- 8日 中間監査
- 13日 第8回理事会

12月

- 5日 第2回技術講習会
- 12日 第9回理事会

1月

- 25日 埼玉県総合評価方式講習会

(社) 埼玉県電業協会会員

支部長 ◎ 副支部長 ○

さいたま支部 (19社)

- 旭電気工業(大宮区)
- 宇田川電気工事(埼玉支店(大宮区))
- 内田電設(岩槻区)
- 浦和電気工事(南区)

- 大塚電設(浦和区)
- ◎ 株岡村電機(緑区)
- 国益電設工事(南区)
- 埼玉電設(中央区)
- 三洋電設(南区)
- 新生電気工事(見沼区)
- 竹内電気(岩槻区)
- 株積田電業(浦和区)
- 中村電設工業(見沼区)
- 浜野電設(北区)

- 株万代電気工業(桜区)
- 瑞穂電設(北区)
- 三津工業(南区)
- ムサシ電機工業(桜区)
- 株八洲電業(北区)

東部支部 (10社)

- 株内田電気商会(久喜市)
- 株大久保電気(越谷市)
- 島村電業(上尾市)
- 株新電気(三郷市)
- ◎ 株大広電気(八潮市)
- 大洋電設工業(越谷市)

西部支部 (18社)

- 株新井電機(飯能市)
- 飯島電器工事(川越市)
- 株市之瀬電設(志木市)
- ◎ 株岡島電気商会(川越市)
- 株おぎでん(川越市)
- 熊田電気工事(狭山市)
- 株三共電気商会(和光市)
- 株関根電気商会(川越市)
- 相馬電業(和光市)
- 株電成社(川越市)
- 株中村電気(新座市)
- 橋電(所沢市)
- 株橋本電工(所沢市)
- 馬場電気工業(新座市)
- 浜田電機(坂戸市)
- フジヤ電気工事(川越市)
- 株松本電機(和光市)
- 株ヤマト・イズミテクノス(ふじみ野市)

南部支部 (11社)

- 内山電設(川口市)

- 株奥富電気工事(川口市)
- 川島電気(川口市)
- 株佐久間電設(川口市)
- 佐野電機(川口市)
- ◎ 三位電気(川口市)
- 高山電設工業(川口市)
- 株田部井電気(鳩ヶ谷市)
- 釣谷電機(川口市)
- 那須電機工業(川口市)
- 領家電設(川口市)

北部支部 (16社)

- イーテクノ(行田市)
- 株エコー(深谷市)
- 岡根電気工事(本庄市)
- 小沢電気工事(行田市)
- 共和電機(秩父市)
- ◎ 熊谷電機(熊谷市)
- 株栗原電機(深谷市)
- 霜田電気(皆野町)
- 中外電気工業(深谷市)
- 株東電工業社(熊谷市)
- 株長井電機(熊谷市)
- 株沼尻電気工事(深谷市)
- 株早川電工(行田市)
- 松山電設(東松山市)
- ムサシ電機工業(行田市)
- 株躍進電気(深谷市)

(さいたま市)



雇用・能力開発機構では、雇用管理に関する事業を行っており、公的資格取得や能力開発のための各種事業及び助成金を行っていますので、お気軽に協会窓口まで、ご相談下さい。

独立行政法人 雇用・能力開発機構埼玉センター

<雇用開発業務>

良好な雇用機会の創出と雇用環境の改善を図るため、新分野進出の支援をはじめ雇用管理全般の相談・情報提供等を行うほか関連の助成金支給や勤労者の財産形成促進等を業務としています。

<能力開発業務>

離職者のための機動的な委託訓練コースや在職者に対する能力開発セミナーなど職業訓練を実施するとともにキャリア形成に関する相談・情報提供、助成金支給等を業務としています。

◆電話 048-882-4164 [建設労働・財形担当]

◆FAX 048-882-4166

◆所在地 〒336-0931 さいたま市緑区原山2-18-8